

## 最高の締めくくり、最高の卒業式を

3月2日(月)に全校集会が行われました。校長先生からは「この3月、今年度の締めくくりをしっかりしよう」というお話がありました。1年生は先輩になる準備を、2年生は最上級生となる準備を、そして3年生は卒業式で「有終の美」を飾ってほしいとのことでした。

「有終の美を飾る」とは、物事の締めくくりを美しく、立派に終えることです。金沢市一番の団結力で、全員で素晴らしい卒業式を作り上げましょう。

最後になりますが、これまでお子様を支えてこられた保護者の皆様、長きにわたり本校を支えていただき本当にありがとうございました。201名の卒業生たちが、4月からそれぞれの道を力強く歩いていくことを、職員一同、心より応援しております。

## 第37回卒業証書授与式【令和8年3月14日(土)】について

保護者の受付は、8:50~9:40です。卒業証書授与式には、在校生も式に参列しますので保護者席に限りがあります。保護者は生徒一人につき1名から2名の参列をお願いします。車での来校はご遠慮ください。

## 表彰披露

〈令和7年度金沢市スポーツ優秀選手賞〉

陸上競技 田中 まこ

陸上競技 山根 璃美

バドミントン競技 富田 英



〈金沢市中学校スキー競技大会アルペン競技〉

男子総合 第1位、アルペン総合 第2位、男子 GSL 第1位

高橋 謙心

## 3月の目標

生活目標：1年間の反省をし、次年度にそなえよう

学習目標：1年の学習を振り返り、新たな目標を立てよう

## 学校評価に関するアンケートの報告

1・2学期末にお寄せいただいた学校評価アンケートの結果とその分析、今後の方針についてお知らせいたします。保護者の皆様と共通理解を図り、更により良い学校づくりのために生かしていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度学校評価【抜粋】※項目の比較				
共通項目		前期肯定	後期肯定	±5%
教員	あなたは、学校生活をとおして、進んであいさつができるよう指導している	90%	90%	
生徒	あなたは、学校生活をとおして、進んであいさつができています	92%	89%	
保護者	お子様は、日常生活であいさつが身につけている	88%	88%	
教員	あなたは、発問や教材、板書の工夫などわかりやすい授業づくりに取り組んでいる	94%	86%	↓
生徒	あなたは、学校の授業に意欲的に参加している	94%	93%	
保護者	お子様は、学校の授業に意欲的に参加している	88%	85%	
教員	あなたは、生徒の家庭学習の習慣が身につくよう工夫している	77%	67%	↓
生徒	あなたの平日の学習時間はどのくらいですか(2時間以上・1~2時間程度)	61%	65%	
保護者	お子様は、家庭学習をしっかりと取り組んでいる	70%	70%	
教員	あなたは、生徒と積極的に関わり、交友関係や悩みなどの把握に努めている	94%	95%	
生徒	悩みがあるときは先生に相談しようと思う	72%	70%	
保護者	学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる	84%	87%	
教員	あなたは、いじめを正確に認知し、迅速に対応するよう努めている	97%	91%	↓
生徒	あなたはいじめられることなく、安心して学校生活を送ることができている	88%	90%	
保護者	学校から、いじめ防止に関する取組が伝わってくる	73%	72%	
生徒	学校は楽しい	93%	91%	
保護者	お子様は、学校に楽しく通うことができている	91%	88%	
教員	あなたは、1人1台端末の効果的な指導を行っている	52%	86%	↑
生徒	1人1台端末を活用した授業が好きだ	81%	86%	↑
生徒	ゲームやインターネットの機器の使用について、家の人との約束やきまりを守っている	85%	84%	
保護者	ご家庭では、ゲームやインターネットの機器の使用に関して、約束や決まり事がある	72%	69%	

単独項目				
教員	業務適正化に向け、市の方針や学校の取組を理解し、業務の自己管理ができている	65%	72%	↑
生徒	自分には、良いところがあると思う	79%	77%	
生徒	自分の気持ちや考えを理解してくれる友達がいる	93%	92%	
生徒	いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う	97%	97%	
保護者	ご家庭では、お子様と学校のことをよく話している	80%	79%	

## 分析と今後の取組



### 1. 分析

成果: ICT 活用の飛躍的向上

教員の「1人1台端末の効果的な指導」が 52% → 86% と劇的に向上しました。これに連動して生徒の「端末を活用した授業が好き」という肯定率も向上しており、授業におけるデジタル活用の定着が明確な成果として表れています。

課題: 教員の授業・指導に対する自己評価の低下

授業づくり: 教員の「わかりやすい授業づくり」への肯定率が 94% → 86% へと低下しています。生徒の意欲(93%)は維持されていますが、教員側が授業の質(教材研究や板書等)に十分な時間を割けていない、あるいは理想に届いていないと感じている実態があります。

家庭学習: 教員の「家庭学習への工夫」が 77% → 67% と 10 ポイント低下しました。生徒の学習時間は微増(61% → 65%)していますが、取組に課題が残ります。

いじめ対応: 教員の「迅速な対応」の肯定率が低下(97% → 91%)しています。生徒の安心感(90%)は向上しているため、現場での危機意識が逆に「より慎重・確実に動かねばならない」という自己評価の厳しさにつながっている可能性があります。

対外的な発信: いじめ防止への取組について、保護者の肯定率は 72% と低調です。学校側の取組が保護者に見えにくい「発信不足」の状況が伺えます。

### 2. 今後の取組案

【学習指導】 ICT 活用を「楽しさ」から「定着」へ

授業改善の共有: 教員間で向上した ICT スキルを情報共有したり校内研修したりすることにより、授業満足度の再向上を図る。

授業改善に向けた日課の見直し: 更に分かりやすい授業づくりに向け、日課の見直し等により、教材研究の時間を増やす。

家庭学習の意欲に繋がる取組: 定期考査前に生徒が放課後学習できるような環境を準備するなど、主体的な学びに繋がる取組を行う。  
自律した学習者となるよう学び方の指導を行う。



【生徒指導・相談体制】 「心の距離」を縮める工夫

相談のハードルを下げる: 先生への直接相談が苦手な生徒のため、ここタンやいじめアンケートなどの活用、スクールカウンセラーとの連携強化など、複数の相談ルートを知らせる。

自己肯定感の育成: 「自分には良いところがある(77%)」を伸ばすため、授業や行事でのスモールステップの承認(褒める指導)を組織的に行う。

【学校運営・連携】 「見える化」による信頼回復

いじめ防止・啓発の発信: いじめ防止・啓発に向けて、具体的にどのような指導(道徳、学級活動等)を行ったかを、学年・学校だよりやホームページで定期的に保護者へ発信し、安心感につなげる。

また、SNS 上のトラブルが多いため、家庭でのネット使用のルールについて話し合うことの重要性を周知していく。

その他、自由記述欄へも多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。皆様からの温かい励ましや、学校運営をより良くするための具体的なご提案は、大変参考になりました。保護者の皆様や学校運営協議会の皆様からいただいた声を真摯に受け止め、今後の教育活動の充実に活かしてまいります。

### 学校運営協議会からのご意見や改善策に向けた意見等

- ・生成 AI の活用に向けて、どのような使い方をしたら良いのか等、ネットリテラシーを定期的に学ぶ必要がある。
- ・SNS については、保護者が与える時にきちんとルールを確認する必要がある。学校も保護者や PTA と協力してトラブルの未然防止に努めていかなければならない。
- ・コロナ禍から、とにかく一人一台学習者用端末の活用をすすめてきたが、手で「書く」ということも必要ではないか。
- ・教員の働き方改革について、定期的に保護者への理解も促していく事が大切である。